

# 同志社校友会大阪支部 常任理事会議事録

開催日時 2014年3月10日(月) 19:00~20:40  
開催場所 関西文化サロン  
出席者 平松相談役・宮本支部長・土居副支部長、神崎副支部長・小池副支部長・小島副支部長・長谷川副支部長・柴田副支部長・東川専務理事・岸田執行常任理事・三輪執行常任理事・清水執行常任理事・早瀬監事・吉田常任理事・中井常任理事・那須野常任理事・中嶋常任理事・扇田常任理事・村岡常任理事・鷺見常任理事・北原常任理事・小川常任理事・能川常任理事・杉山常任理事・生田常任理事・林常任理事・森下常任理事・近藤常任理事・土橋常任理事・平田常任理事・児玉常任理事・宮坂常任理事・中川常任理事・下村常任理事

1. あいさつ 宮本支部長
2. 新年度方針について
3. 新役員・組織について
4. LCC・HLC 年間事業計画について

・LCC 年間事業計画について土橋常任理事より、スケジュール案に基づき、5月12日の総会、6月25日には北川常任理事の事業拠点、カゴヤデータセンター見学会等について説明が行われた。

・HLC の活動については清水常任理事より、開催日の変更(第3月曜日から第3火曜日への変更)について説明があり、合わせて明日11日の例会について説明があった(池田泉州銀行・野田常務執行役員による講演)

・今後の常任理事会では全国的にもユニークな組織であるLCCやHLCの年間活動等を積極的に紹介する活動を展開。

※(宮本支部長より) LCC、HLC の年間スケジュールを決定し、当議事録に添付する。

なお、校友会常任理事は今後共、同会の会合に積極的に出席し、活動を盛上げてほしい。

・事務局からこれらの行事については全常任理事に今後はメールを入れるので衆知いただきたい。

## 5. 同志社ビジネススクール説明

・冒頭、小池副支部長より同志社ビジネススクール(DBS)の概況について説明があった。

・続いてDBS北寿郎教授・ビジネス研究科長より説明。2014年4月開校以来10年、他学を超える入学者を誇るも、企業、特に大阪との連携が不十分であるという問題の解決が課題。カリキュラムの改定等実施しより企業経営に有益な活動を展開。卒業生は卒業後もDBS教授に自由に学べる特典もあり、生涯教育の面でも有益であり、大阪の企業経営者やその卵の参加をお願いしたいとのこと。

- ・児玉俊洋教授より具体的な活動について説明があった。企業連携として(株)中農製作所、榎本薬品(株)、大和歯車(株)、オーエッチ工業(株)の実績の報告があり、大阪の中小企業等との連携活動が重要であり協力要請があった。

## 6. 総会の方針と進行案について

- ・柴田副支部長より説明。
  - ・基本構成は例年通り。総会+講演会+懇親会。会場はウェスティンホテル。
  - ・講演会講師は、第一候補/百田 尚樹（ひやくた なおき）氏（作家）  
第二候補/堀 浩司（ほり ひろし）氏（経済ジャーナリスト）。  
百田氏からは今夜回答あり。百田氏で決まった場合は参加者増加が見込まれ、会場の運営方法等について検討要。総会、懇親会場を一体的に（広く）使用するなど。
- ※（宮本支部長より）3月11日百田尚樹氏に決定した。5~600人規模での集客を期待したい。

## 7. 各組織の近況について

- ・LCC/土橋常任理事より説明。2月、松下資料館の見学会、3月24日同志社ビジネスプランコンテストの受賞者（学生）を招いて会合を開催。
- ・HLC/清水常任理事より説明。3月11日、講演会「2014年世界経済とマーケットの行方（講師/池田泉州銀行・野田常務執行役員）開催。
- ・樹徳会/中井常任理事より説明。新卒の社会人の歓迎会を開催予定。また恒例の（4回目）同立戦（ゴルフ）を実施予定。
- ・大阪同志社クラブ/下村常任理事より説明。2月の例会、恒例の立川親方・甲山親方を囲む会実施。108名参加。今回はシャンソン歌手（OG）波多野まきさんの歌を聴きながら懇親会実施予定。
- ・RE クローバー倶楽部/近藤常任理事より説明。不動産会内でのビジネスマッチング等について。制約した際の寄付制度等。
- ・同経会大阪プロジェクト/今回は特記事項なし。
- ・紫翠会/三輪執行常任理事より説明。大同窓会の開催について。時期を変更12月に開催予定。詳細決まり次第改めて案内があるとのこと。
- ・政法会大阪支部/能川常任理事より説明。4月16日に第4回総会開催。場所、ウェスティンホテル。河内一友（(株)毎日放送社長、校友会大阪新副支部長候補）より講演。

## 8. 第一回同志社校友会大懇親会の報告

### ① 大懇親会（2月15日）について

- ・当初1,500人との予想を上回る2,200人のOB・OGが参加。スタッフを含めると2,400

人規模での開催。第1回で大きな成果となる。

- ・井上礼之校友会会長の冒頭挨拶の紹介。

#### ② 校友会の運営について

- ・校友会役員改選の時期であるが、大阪支部のメンバーが力を発揮し、引き続き改革を進める。

#### ③ 大阪支部役員改選について

- ・大阪支部支部長について。規定の任期を超えており、6年目を前に支部長を退任、後任に柴田副支部長を念頭に。7月以降は本部活動に注力。

#### ④ 校友会(本部)の運営組織の変更に関して

- ・現在本部の理事40名態勢(うち大阪支部より10名の役員)を改組。
- ・全国の48支部から代表者が出るほか、樹徳会、同経会、政法会、スポーツユニオンから代表者が「代議員」として校友会の運営に携わる。
- ・大阪支部からは(井上礼之会長、小嶋淳司副会長、井上幸男理事を除き)5名の理事を候補とする予定。候補は、播島相談役、宮本支部長、神崎副支部長、服部副支部長、柴田副支部長である。
- ・評議員は大阪より32名+支部長を候補とする。
- ・4月3日の校友会本部新理事会で承認され、本部役員が決定される。

#### ⑤ その他、大阪支部新役員候補、候補推薦について大阪支部役員名簿に基づき説明があった。6月9日の大阪常任理事会において最終役員承認をうけて、7月2日の総会にて了解承認をもらって正式就任となる。

## 9. 会費の納入状況 早瀬監事

3月5日現在は以下の通り。

終身会員：58名

年次会員：255名

## 10. 法人・大学の状況報告

- ・入学希望者数前年比3%増加。関学等はマイナスであるのに比べ善戦している。「八重の桜」効果は見られるものの限定的であった。
- ・法人の経営としては格付「AA」を維持。経営上はうまく行っているが、八重の桜後をどうするか課題である。
- ・文系学部の今出川移転により、今出川のキャパオーバー、京田辺の閑散とした状況が問題に。本年度のテーマとなっている。

## 1 1. 校友会本部の報告

- ・校友会本部の理事及び評議員におかれては、至急名簿作成のため配布させていただいている用紙に記入して、3/13 までに事務局（がんど）まで出してほしい。なお、4月3日、新島会館で新任の校友会本部の理事会（初回）があり、出席の予定をしておいて下さい。（後日依頼書が届けられます）

次回開催日 6月9日（月）19：00～  
於：関西文化サロン

同志社校友会大阪支部  
（議事記録 下村常任理事）  
（文責 東川専務理事）